



長野県難聴児支援センター ニュースレター

令和3年度
第1号



長野県保健・疾病対策課

信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科

長野県難聴児支援センターは、きこえに心配があるお子さんや、難聴の確定診断をされたお子さんのご家族・関係者支援の拠点になることを目指し、平成19年6月に開設されました。場所は、信州大学医学部附属病院に隣接した県松本旭町庁舎内にあります。スタッフは、センター長（信州大学附属病院耳鼻咽喉科 工穰教授）、小児難聴外来医師、言語聴覚士、療育支援員で構成されています。今年度より、原山綾花が療育支援員をつとめております。よろしくお願いいたします。



ファミリーセミナー 開催

難聴児支援センターでは、『難聴児のためのファミリーセミナー』を開催しています。3回シリーズで難聴や支援制度等について学びます。2回目以降からの参加も可能で、参加できなかった回については、2巡目以降の同じ内容の回にご参加いただけます。

今年度の前半は、新型コロナウイルス感染拡大のため、オンラインでの開催となりましたが、後半は、感染状況が落ち着いてきたことから、感染対策を講じつつ、信州大学附属病院にて開催しました。

3回シリーズの1回目「難聴の診断と治療」では、センター長の工穰先生、小児難聴外来担当の吉村豪兼先生より、「耳のしくみと音の伝わり方」や「治療の実際」、「補聴器や人工内耳」について、動画や写真などを使いながら、わかりやすくお話いただきました。

参加された方からは「診断を受けてから、自分でもいろいろ調べたが、なかなか知りたい情報が得られなかったので、このような機会がありがたい」「信頼している先生方のお話を直接聞くことができ、安心した」「今後、私たち家族がどういう未来になるのか、心構えができた」など、たくさんのご感想をいただきました。また、オンラインではなく、参加者同士、顔を合わせたことで「仲間がいることが、心強かった」という声もいただきました。

このファミリーセミナーは、「難聴だとわかった」「補聴器を使い始めた」といっても、耳の事、きこえの事、これからの成長など、外来受診の限られた時間だけでは理解が難しいこと、付き添われた保護者が家族に説明することが難しいことなどからスタートしたご家族のための学習会です。お父さんお母さんだけでなく、おじいさんおばあさん、ご家族を支える療育・教育機関の先生方など関係する方も参加し、一緒に学んでくださっています。赤ちゃんを支える多くの皆さんにご参加いただき、「知ること」から一歩を踏み出し、みんなで育てる環境を考えてほしい。そんな願いをこめて、開催しております。今後も、皆様のご参加を心よりお待ちしております。



第2回 ファミリーセミナー

日時； 1月29日(土)14時00分～15時30分

講師： 権田 綾子 先生

(信州大学医学部附属病院 言語聴覚士)

内容：『きこえとことばの育ち』

『周囲の人のかわり』 など

第3回 ファミリーセミナー

日時； 2月19日(土)14時00分～15時30分

講師： 難聴児を育てたお家の方

内容：『診断を受けたときの家族の思い』

『補聴器や人工内耳を装用してから』

『幼児期から児童期にかけての成長』 など



2020年度 新生児聴覚検査のまとめ

新生児聴覚検査実施機関より、検査実施数の報告をいただいています。実施機関の皆様には、いつもご協力いただき、ありがとうございます。昨年度の実績を報告いたします。

◇検査数 ※2020年度 長野県出生数：12,760人

対象者数	13,592人
非検査数	74人
新スク検査数	13,518人
パス件数	13,164人
2次検査数	85人
確定診断数（両側中等度以上）	17人

(2021年 県健康福祉部報告)

◇報告率

39施設 ÷ 40施設 = 0.975...97.5% (9月まで)

40施設 ÷ 40施設 = 1...100% (10月以降)

◇新生児聴覚スクリーニング検査実施率

13,518人 ÷ 13,592人 = 0.994 99%

◇新生児聴覚スクリーニング検査「パス」の割合

13,164人 ÷ 13,518人 = 0.972 97%

◇難聴確定診断の割合

17人 ÷ 13,518人 = 0.001...%

2020年度の県内新生児聴覚検査実施機関数は40施設でスタートしましたが、年度途中で矢嶋医院が閉院し、大町総合病院が休止中のため、新生児聴覚検査実施機関数が38施設となりました。

新生児の聴覚検査の非検査者（検査を希望されない方）数は、平成14年に統計を取り始めてから、前年度の81人が過去最少の結果でしたが、昨年度は74人となり、さらに減少しました。各実施機関で新生児聴覚検査の意義をお伝えいただいていることが、大きな成果に結びついていると思います。ありがとうございます。

今後も、難聴が見落とされることなく早期に発見し、治療・療育が開始できるよう啓発活動に取り組んでいきたいと思ひます。



保健センター視察 ～3歳児健診の様子～

10月に穂高保健センターで行われた3歳児健診の様子を視察しました。

健診担当の保健師さん方が、お子さんの成長を丁寧に捉え、お家の方の気持ちに寄り添いながらお話される様子を間近で拝見し、大変勉強になりました。新生児聴覚スクリーニングの実施率の高い本県ですが、新スクが未受検であったために難聴の発見が遅れたり、出生後何らかの理由で聴力が低下したりする例も少なからず報告されております。言葉の発達に欠かせない幼児期のきこえを担保するべく、各地域の保健師さん方のお力を借りながら、難聴の早期発見を目指していけたらと思ひます。

長野県難聴児支援センター

TEL:0263-34-6588

FAX:0263-34-6589

Mail:mimi@shinshu-u.ac.jp

住所：松本市旭 2-11-30 松本旭町庁舎 2階

療育支援員：原山 綾花

※ご相談、お問い合わせ等お気軽にご連絡ください

ホームページ

<http://shinshu-nanchouji.jp>

